




令和 4 年度 施策評価表

施策	0401	国際理解・国際交流の推進	施策担当部	企画政策部	部長	渡邊 真一郎
			施策担当課	企画政策課	課長	石山 光昭
施策の方針	講座やイベントの開催による国際理解の推進や、海外の姉妹都市・友好都市との国際交流の活性化を図る。					
関連するSDGsのゴール	  					

【DO（実施）】

後期基本計画（令和3年度～令和7年度）における数値目標

指標名	単位	基準値 (R1)	R3目標値	R4目標値	R5目標値	R6目標値	R7目標値	R3年度	
			R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値	達成率	進捗率
① 中学・高校生のホームステイ派遣者数	人/年	8	8 0	8	8	8	8	0.0%	0.0%
② 国際交流プラザの利用者数	人/年	3,314	3,500 1,061	3,600	3,700	3,800	3,900	30.3%	27.2%
③ 多文化講座の参加者数	人/年	2,943	3,000 703	3,000	3,000	3,000	3,000	23.4%	23.4%
④									
⑤									

施策達成状況の説明

新型コロナウイルス感染症の影響で、各種事業が予定どおりに実施できず、すべての指標において目標値を下回った。
 ①新型コロナウイルス感染症の影響で、海外の姉妹都市（ポルトガル共和国シントラ市、アメリカ合衆国サンカルロス市）とのホームステイ交流は実施できなかった。
 ②国際交流プラザの年間利用者数は、国際交流プラザで開催する交流イベントが一部実施できなかったことなどから目標値を下回った。
 ※利用者数は、令和元年度と比較し、68.0%減
 ③多文化講座（講座及び交流イベント）の年間参加者数は、目標値を大幅に下回った。グローバルクラスルームなどの講座は、一部オンライン形式で実施したこと及び参加人数を制限したことなどから参加者数が伸びなかった。また、大人数の参加が期待される大規模交流イベントが実施できなかったことも参加者の減につながっている。
 ※参加者数は、令和元年度と比較し、75.8%減

施策経費

(単位:千円)		R3年度 決算	R4年度 予算	R5年度 見込	特記事項
内訳	事業費	10,736	9,088	12,436	
	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	120	
	地方債	0	0	0	
	その他	10,736	3,072	3,259	
	一般財源	0	6,016	9,057	
	人件費	5,599	5,313	—	
フルコスト	16,335	14,401	—		

施策の概要（細施策）

040101	国際理解の推進	多様な文化を理解することのできる市民を育成するため、国際交流プラザを活用した、外国の文化・慣習・外国語などに関する講座やイベント、鎮西学院大学大村サテライトキャンパスの留学生と市民との交流イベントの開催など、多様な学習の場や機会を提供します。
040102	国際交流の推進	国際性豊かな市民の育成やまちづくりを推進するため、姉妹都市であるポルトガル・シントラ市、アメリカ・サンカルロス市や友好都市である中国・上海市閔行区との訪問団やホームステイの相互派遣等の友好・親善活動に取り組みます。 また、市民レベルでの交流を促進し、姉妹・友好都市関係の発展を図ります。

【CHECK（評価）施策担当部長】

施策を達成する上での問題点・課題

【国際交流事業】新型コロナウイルス感染症の影響から、令和4年度も海外姉妹都市へのホームステイ相互派遣事業は実施しない。入国制限が緩和されつつある今、来年度以降のホームステイ相互派遣事業の再開に向け、現地でコロナに感染した場合なども想定して検討する必要がある。また、姉妹都市等に関する企画展、オンライン交流など、交流を絶やさぬよう、形を変えての国際交流についても引き続き、検討していく必要がある。

【官民連携型国際交流事業】大村市国際交流プラザについて、令和3年度中に見直しを行い、開館日数及び開館時間の変更を行った。魅力あるイベントを開催するなど、トータルとして利用者の満足度を低下させないようにするため、委託業者とより連携して事業実施に取り組む必要がある。コロナの状況をみながら、多くの市民が気軽に参加できるような事業の実施も検討すべきである。

【ACTION（改善・改革）】

上記の問題点・課題を踏まえた事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方

【国際交流事業】新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、令和5年度の相互ホームステイ事業の再開に向けて準備を進める。また、令和5年度は、サンカルロス市内で姉妹都市通りの完成記念式典が開催予定であること、また令和4年度にサンカルロス市との姉妹都市提携10周年を迎えたことから、公式訪問の準備を進める。また、小中学生と海外の姉妹都市等の子どもたちとのオンライン交流を定期的に行えるよう準備を進める。

【官民連携型国際交流事業】コロナ禍にあっても多文化理解及び多文化共生にかかる取組を継続できるよう、引き続きオンラインでも実施できる講座・イベント等を充実させていく。

令和5年度新規事業

	事業名	担当課	令和5年度見込	対象・事業概要など
			事業費（千円）	
1				
2				
3				
4				
5				
			0	